

「はい、配送センターです」

「あの、不在連絡票が入っていたんですけど」

「かしこまりました。不在連絡票がはいっていたのはいつですか？」

「五日です」

「五日ですね。それでは、右上のほうに書かれてあります八桁の番号をお願いします」

「1・8・1・5・2・4・0・1 です」

「お名前をお願いしますか？」

「東一郎です」

「東一郎様ですね」

「お届けはいつがよろしいでしょうか？」

「明日の朝、お願いしたいんですけど・・・」

「かしこまりました」

「時間指定はできますか？」

「申し訳ありません。時間指定はできないんです。午前・午後・夜間の指定となりますが」

「午前ですと、朝何時から何時までの配達になりますか？」

「九時～一時迄の間になります」

「では、午前でお願いします」

「かしこまりました。それでは明日の朝、午前九時～一時の間にお届けいたします。ありがとうございます」

「よろしくお願いします」

電話を切つて数分後、東は届け先を変更してもらう為、もう一度配送センターに電話を入れた。

「はい、配送センターです」

「すみません。たった今電話をした東といいますが、届け先を変更してもらうことはできますか？」

「ご希望のお届け先ご住所はどちらになりますか？」

「足立区です」

「はい、大丈夫です。それではまず、お名前とお客様のご住所をお願いします」

「東一郎です。住所は東京都足立区青井一―一―」

「かしこまりました。ご希望のお届け先ご住所とお電話番号をお願いします」

「東京都足立区足立一―八 大田ビル一階です。電話は〇三―三八一八―一五〇です」

「こちらは会社になりますか？」

「はい、そうです」

「それでは、会社名と部署名もお願いします」

「株式会社アドバンネットワークの営業部です」

「はい。それでは、確認させていただきます。ご住所が東京都足立区足立一―八 大田ビル一階、電話番号は〇三―三八一八―一五〇ですね。会社名は株式会社アドバンネットワーク、部署名は営業部ですね。それでは東様、明日の午前九時～一時の間にお届け致します。ありがとうございます」東は、

「よろしくお願いします」と言つて電話を切つた。